

| | | | | | |
|---------------|---|------|------|--------|-----------|
| 科目名 | 心理演習 | | 担当教員 | 高村 和代 | |
| 単位 | 1単位 | 講義区分 | | ナンバリング | ED2SPS324 |
| 期待される学修成果 | 学校と社会 態度 | | | | |
| アクティブラーニングの要素 | グループワーク | | | | |
| 実務経験 | 公認心理師 | | | | |
| 実務経験を生かした授業内容 | 公認心理師の職務経験を生かし、公認心理師の役割や具体的方法についての演習を行う。 | | | | |
| 到達目標及びテーマ | 公認心理師としてコミュニケーションを行うためには、コミュニケーションの技術の習得のみならず、様々な立場の人への理解が必要となる。本演習では、まずコミュニケーションの基本的な技法について理解を深める。そしてコミュニケーションの技法を用いて、様々な心理面接場面のロールプレイングを行い、支援者の心理、チームアプローチ、他職種・地域連携を視野に入れた公認心理師としての支援の知識および技術を習得する。 | | | | |
| 授業の概要 | 本演習は、15名を上限とした少人数で開講する。まず公認心理師の職業倫理を確認し、そのために必要なコミュニケーションの技法を臨床心理学ならびに対人心理学の諸理論と関連づけて学ぶ。さらに心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携に基づいた支援を学ぶ。 | | | | |

| | |
|------|------------------------------------|
| 授業計画 | |
| 第1回 | オリエンテーション（公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解） |
| 第2回 | チームアプローチの理解 |
| 第3回 | 多職種連携、地域連携の実態 |
| 第4回 | 効果的なコミュニケーション①：社会的スキル・感情の抑制 |
| 第5回 | 効果的なコミュニケーション②：非言語情報の解読・説得技法 |
| 第6回 | 支援者の心理およびニーズの理解 |
| 第7回 | 地域支援の実態 |
| 第8回 | 支援計画の立て方 |
| 第9回 | ロールプレイング①：インテーク面接 |
| 第10回 | ロールプレイング②：心理検査場面でのコミュニケーション |
| 第11回 | ロールプレイング③：子どもへの心理面接 |
| 第12回 | ロールプレイング④：親への心理面接 |
| 第13回 | ロールプレイング⑤：産業場面での心理面接 |
| 第14回 | ロールプレイング⑥：非行少年への心理面接 |
| 第15回 | ロールプレイング⑦：高齢者への心理面接 |

| | | |
|------------|---------------------|---|
| 事前学修 | 0.5時間 | ロールプレイングを行う回の前に、講義で学んだ内容を復習しておく。 |
| 事後学修 | 0.5時間 | スピーチやディスカッションを実践した後に、その反省を踏まえ、自身が気をつけるべき点を整理しておく。 |
| フィードバックの方法 | 各発表の後に評価をフィードバックする。 | |

| 成績評価方法 | 割合（％） | 評価基準等 |
|---------------|-------|-----------------------------------|
| 定期試験 | 0% | 実施しない |
| レポート | 30% | 演習の中で課される自己理解に関するレポートへの取り組みで評価する。 |
| 上記以外の試験・平常点評価 | 70% | 演習の中で課される読解課題および発表課題への取り組みで評価する。 |

| | |
|------|--|
| 補足事項 | |
|------|--|

| 教科書 | | | | |
|-------|-------------|-----|------|----|
| 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 使用しない | なし | なし | なし | なし |
| 参考資料 | 適宜プリントを配布する | | | |